

# 国保料の引き下げを 保険証の機械的とりあげやめよ

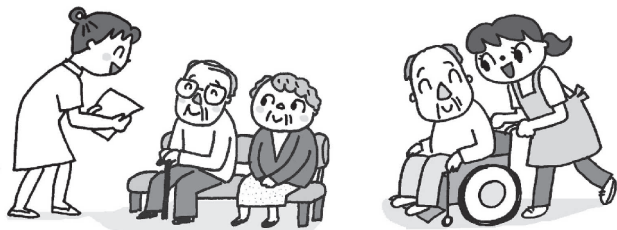
日本共産党福岡市議団は、11月25～26日、上京し、国民健康保険料（国保料）の引き下げ、国民健康保険証の機械的とりあげの中止をはじめ、福岡市民の様々な願いを実現するために国に要請をおこないました。



## 国が出すお金をふやして 保険料引き下げを

鳩山首相（当時）も「相当に高い」と国会で答えた福岡市の国保料。にもかかわらず、福岡市は今年、年所得200万円の3人世帯で2万円もの値上げを強行しました。

日本共産党市議団は、国庫負担の割合を引き上げて保険料の引き下げをするよう国に要請しました。



## 福岡市の機械的とりあげ 「実態を確認したい」（国）

福岡市は「保険料を払えない世帯から機械的に保険証とりあげはしてない」と主張していますが、党市議団が「1万2千世帯すべて実情を調べたのか」とただすと「調べていない」と回答。

この問題について、党市議団は「これは機械的とりあげではないのか」と厚生労働省に問いただすと、同省担当者は「実態を確認したい」と答えました。

### 住宅リフォーム助成

「国の交付金使い制度つくれます」（国）  
日本共産党福岡市議団は、全国各地でおこなわれ高い経済効果をjしめしている住宅リフォーム助成の福岡市での実施を求めています。この問題でも国に要請。国交省は、住宅の長寿命化や景気効果に役立っていること、市が制度をつくれば国の交付金を使うことを答弁。党市議団は、これはいかじ、福岡市でも実現をめざします。

# 日本共産党市議団が 政府にせまる

他にも●特養ホーム・保育園の新設促進●教室冷暖房●少人数学級を全学年へ●生活保護充実●児童福祉司ふやすなど児童虐待対策●九大跡地利用計画（箱崎・六本松）●雇用促進住宅廃止の撤回などを申し入れ